

関節リウマチ・膠原病を発症あるいは心配されて受診をされる患者様へ

開院してほぼ5年間に過ぎ、関節リウマチ・膠原病をすでに発症されている患者様、それらの病気を心配されている患者様に多数受診していただいております。

すでに診断されている患者様の多くは、住所が当院に近く通うのに便利なため、糖尿病や高血圧、甲状腺の病気など他の内科疾患を持たれ同時に診療を希望されてお出でになられます。時には大病院での待ち時間が長いため、待たないでも診療を受けられる(?)ことを期待して来られる方もいるように思います。当院では、それぞれの患者様の希望に沿うよう、対応をしております。

お願いとしては、できるだけ前の主治医からの紹介状を持ってきていただきたいです。身体所見、検査データを取らせていただきますと、患者さんがご自身で理解し語られる病状とは異なることが大変に多いです。リウマチも含め膠原病は、発症時の診断とその根拠や治療歴がとても大切で、紹介状があると効率よく現状を把握することができます。お薬手帳と一緒に、できれば紹介状もお願いいたします。

関節リウマチ・膠原病を心配されて当院を受診される方は、最近の手指や手首・肘・肩・膝や足首・足趾関節の痛みや腫れ・しびれ、朝の手指のこわばり等を心配されて受診される方が大部分です。関節が痛ければリウマチ・膠原病かといえどそんなことはなく、変形性関節症や頸椎症などの整形外科的な疾患の方も多いです(ただし両者の合併はあり得ます)。当院では、現在の関節痛、関節炎が関節リウマチからのものかどうかを先ずお教えできるように、問診、身体所見、レントゲン、採血検査、場合によっては関節エコー、MRI検査をしております。膠原病に関しましては、診察や検査データの中に臓器病変や免疫異常がないか、最初は基本的な部分のみを検査に入れさせていただいています。結果を見て、さらに詳細な検査が必要でしたら、追加の検査をさせていただきます。膠原病と言われる疾患は20以上あり、多くの特殊なマーカーが知られておりますが、検査料の高いものが多く必要最低限を心がけて検査をしております。

疾患によりましては当院で対応しきれないものもございます、この場合は患者さんに説明・相談をし、宝塚市立病院を始め、適切な病院へ紹介させていただいております。

平成 30年 9月 17日